

桜区P連だより

発行
さいたま市PTA協議会
桜区連合会広報情報委員会

事務局
さいたま市大宮区大門町3-1
TEL 048-647-4401

平成30年度 桜区PTA連合会スタート

平成30年6月9日(土)桜区PTA連合会定期総会がプラザウエストにて開催されました。総会では29年度事業報告、決算報告の承認を頂き、30年度役員承認では区連会長に今川神田小PTA会長、副会長に神山久保中PTA会長・廣松田島小PTA会長が選任されました。4期目の今川区連会長は「有意義な活動

は継続しつつ皆様の負担についても配慮した活動を心掛けたい。」との挨拶をされています。続いて平成30年度事業計画及び予算案の承認を頂きました。また、今年度も、総会に併せて広報情報委員会、正副会長会を同日に開催しました。皆様1年間よろしくお祈りします。



- 山崎栄慈(上大久保中会長)
- 及川勉(中島小会長)
- 廣松陽子(田島小会長)
- 陶山功(田島中会長)
- 田澤崇栄(小会長)
- 千葉和博(顧問・上大中校長)
- 林大悟(新開小会長)
- 高橋公一(前上大久保中会長)
- 前島夫(顧問・大久保東小校長)
- 鈴木健一(前土合小会長)
- 今川夏如(神田小会長)
- 佐々木珠緒(土合中会長)
- 木村雅之(大久保東小会長)
- 神山巨(大久保中会長)
- 武藤明弘(土合小会長)
- 井澤孝行(大久保小会長)

[さいたま市いじめ防止シンポジウム]開催



8月10日(金)市民会館のおみやげで教育委員会主催の「さいたま市いじめ防止シンポジウム」が開催されました。区内PTAからも多数参加しました。

司会進行は、さいたま市立浦和南高校の生徒で、さいたま市立ひまわり特別支援学校の生徒会長による力強い言葉で開会しました。シンポジウムでは、さいたま市教育長による松谷み

よ子さん著の絵本、「私のいもうと」の朗読がありました。

この本は、1987年に出版されたもので、いじめで妹さんを失くされた女性から松谷さんに送られた手紙を元に書かれたそうです。

いじめは人の人生をめちゃくちゃにしてしまう、卑劣な行為であるという事が痛いほど伝わる内容でした。

皆さんも是非一度お読みください。

さいたま市は、チームさいたま市として各団体が連携していじめ防止に取り組んでいる、泰平中学校の『全国いじめ防止サミット』参加報告、慈恩寺小学校の『心のI・S・S』活動報告、春野小と春野中学校合同での『全員参加型でいじめのない環境作り』への取り組み報告と、どの学校の生徒

徒たちも、沢山の人の前で立派に発表していました。

最後は、子ども会議議長団によるフリーディスカッションが行われ、30年度の会議テーマ『SNSによるいじめ撲滅』について話し合われました。

このような活動が各学校で行われ、子どもたちが自身が意識を持って活動していることを知る事ができ、いじめを無くすという事は、大変な努力と覚悟を必要とする行動だと思っていましたが、いじめは小さな芽のうち刈り取る事で、大事を避ける事ができる。いじめてしまう子にも、いじめられてしまう子にも、見て見ぬ振りをしてしまう子にも、満遍なく目を向けてあげられるように、家庭、学校、地域が連携できるチームさいたま市の活動に協力していきたいと思います。シンポジウムでした。

館 岩 研 修



8月18、19日の一泊二日で桜区より4名が館岩の研修に参加し、子どもたちのプログラムと同様の体験ができて大変ありがたかったです。体験だけでなく、子どもたちのために男性は登山道の木段作り、女性は自然の家の敷地内の除草作業に汗を流し環境を整えました。作業後の天然温泉では極楽を味わいました。

(館岩担当 上大久保中学校)



地域連携 中島小 スポーツチャンバラ大会

6月24日(日)、中島小学校体育館で「スポーツチャンバラ大会」が開催されました。主催は青少年育成中島地区会で、総勢110名が参加しました。まずは、チャンバラの剣づくり、自分の剣は、自分で手作りします。学年ごとに分かれて円になり、5〜6年生のボランティアが中心となって、和気あいあいと楽しく製作しました。

剣ができたら、実際に剣を使った基本動作の練習で、先生の実演を見ると簡単そうなきも、いざ自分でやってみると意外と難しく、実戦練習では1対1で剣を打ち合う型を何種類も練習します。

段階的に少しずつ難しい動きも入り、児童も保護者も夢中になって剣を振っていて、パシッ！パンッ！と剣同士がぶつかる音が体育館に鳴り響きます。全員がチャンバラの動きや剣の扱いに慣れ、楽しくなってきたところで、試合を行いました。

膨らませたビニール袋をヘルメット状の防具の上につけ、頭にかぶり、剣で相手のビニール袋を割るか落とすことができれば勝ちです。最後は保護者と先生で日頃のストレス発散！といった様子で、子どもたちもびっくりの真剣勝負が繰り広げられ、大いに盛り上がりました。



最後に、指導してくださった先生から、「怖い、と思う事が大事」という話があり、戦う上で大切な構えを教えていただきました。今日は、地域の方に見守られ学べる良い体験ができました。

単P からの お便り



【土合小】

9月13日(木)夏休みの応募課題「えがおのあいさつ運動の絵」を育成会会長、校長先生、PTA会長の3名により「育成会長賞」「校長賞」「PTA会長賞」各1点と「特別賞」4点を選考しました。作品は校内での掲示を予定しています。



【田島中】

8月29日(水)学年委員会主催による校内除草作業を行いました。



生い茂った多くの雑草が除草されたので、子どもたちも2学期を快適に過ごす事ができそうです。

【大久保小】

8月1日(水)桜高等学園のご厚意で職業体験をしました。まず、お掃除体験、窓洗浄のための道具を装着し、ウオッシャー・スクイジーを使い、子どもたちよりも高い窓を洗浄しました。子どもたちは操作を教



えてもらいながら、普段届かないような高いところまで道具を使ってきれいにできて大満足！綺麗に窓を掃除できたことが嬉しかったのか、「もう少し、きれいにしたかった〜！」「いろんな道具を使えて楽しかった〜♪」という声がありました。

次は、ショップ店員体験、販売コーナー「ショップ桜」で、レジ操作・包装お渡しなど、実際に商品を売る体験をしました。

レジの操作が慣れていくうちに楽しくなってきたようで、「もっとレジを操作してみたい」という声がありました。また、商品を渡す時、商品の量に合わせて、レジ袋の大きさを選んで出すのが難しかったです。

最後に、実際に品物を選んでお買い物をしました。どんなものを買ったのかな？

【土合小・中島小・新開小】

7月6日(金)土合公民館において、土合小・中島小・新開小PTAと土合公民館共催による「家庭教育サポート学級」が開催されました。今年度のテーマは「家族を考える」現代に

おける生きづらいつらい親子関係。



講師は吉備国際大学子ども発達教育学科藤井和郎教授。まず最初に隣の方とペアになり、簡単な自己紹介と最近嬉しかったことについて会話するという時間が設けられ、最初は少し躊躇しましたが話し始めると、さっきまでの「知らない方」の集まりが、一緒に子育てをする仲間が集まりのような感覚になり、この後の講演により深く入り込めた気がしました。

中学校教員時代の経験に基づくエピソードを交えながら、問題行動というのは、「行動化」されたものではなく、「身体化」「精神化」全ての状態を含むということ、大事なものは、問題行動の「意味」を受け止める、考えることであり、それがわからなければ相談することでないと優しい声で話され、子どもへの接し方としてよくない「ダブルバインド」や、「望ましい叱り方」などについても聞くことができ、なかなかできていない我が身を振り返りながら、親としてこのようにありたいなという姿をイメージすることができました。共催の土合公民館、後援の青少年育成土合・中島・新開地区会の皆様に感謝いたします。

当日は、雨天だったため、中学生は体育館、小学生は各教室にて待機となりました。数年前に東日本大震災があった時は、たまたま家にいたので、親が帰宅難民にならずに済みましたが、当時のことを振り返って、親が迎えに行けなくてもどこかにいたら安全か、もう一度家庭内でも子どもたちと話し合い、いざという時に活かせるようにしていきたいです。

【神田小・大久保小・大久保中】

6月15日(金)大久保中・大久保小・神田小において、東海地震警戒宣言が発令された想定のもと、引渡し訓練が大久保中学区内の三校合同で行われました。体育館に全員集合の後、保護者の引き取り、集団下校、弟妹のいる大久保小・神田小にて引渡しのため移動の各グループに分かれ下校しました。地震だけでなく様々な災害が起こることが想定されます。どんなときにも落ち着いて行動できるよう、集中して訓練に臨みました。

当日は、雨天だったため、中学生は体育館、小学生は各教室にて待機となりました。数年前に東日本大震災があった時は、たまたま家にいたので、親が帰宅難民にならずに済みましたが、当時のことを振り返って、親が迎えに行けなくてもどこかにいたら安全か、もう一度家庭内でも子どもたちと話し合い、いざという時に活かせるようにしていきたいです。



ウェブサイトで桜区各校PTAの活動を発信しています。

さいたま市PTA協議会桜区連合会Webサイト
http://www.saitama-city-pta.jp/06_sakura_ku/

桜区PTA

検索